

7 西明寺自然環境保全地域



1 地域指定

- (1) 指定地域 西明寺周辺一帯（北茨城市）
- (2) 指 定 昭和52年2月3日（茨城県告示第117号）

2 保全計画の概要

(1) 指定理由

本地域は、西明寺川の南西面に位置し、植林されたスギ林が多く、一部にシラカシ、ウラジロガシなどのカシ類の混交林がみられ、暖帯林的な様相を残し、その林床には暖帯性のシダ植物が生育している。これらは、自生の北限又はそれに近い種である。

したがって、この地域は、自然環境保全条例第3条第1項第5号の「植物の自生地、野生動物の生息地」に該当する。

(2) 保全すべき自然環境の特質

本地域は、海拔70メートルから200メートルの山地からなっており、植生は、スギ、ヒノキ、アカマツの人工林、シラカシ、ウラジロガシなどのカシ類の混交林からなっており、比較的幼令林が多くその林床に暖地性シダ植物が生育している。

ア 植 生

本地域内に生育する代表的なシダ植物としては、スギ林下にフモトシダ、ホソバカナワラビ、ハカタシダ、キジノオシダが生育よく群生し、オオキジノオも自生している。

スギ林下の沢筋や岩上には、関東では珍しいノコギリシダが生育し、関東地方では数少なく、太平洋側のみに分布するオオカナワラビが生育している。また、本県では吾国山と当地域の2か所のみしか確認されていないクリハランが生育している。これらは日本列島の北限、又はそれに近い種で学術上重要な植物である。

イ 動 物

蝶類では、福島県のいわき地方が分布の北限となっているムラサキシジミやツマグロキチョウ、ウラギンシジミが見られ、アオスジアゲハは多く生息している。一方、やや山地に多い、コツバメ、クモガタヒョウモン、アオバセリも見ることができる。

両生類、哺乳類では普通種が見られ、鳥類はコジュケイ、キジ、ヤマドリ、キジバト、アオバズクなどが見られる。

(3) 自然環境の保全に関する基本的な事項

地域全体を普通地区とし、そこに生育するシダ植物、野生動物の生息する自然環境を維持する。このため、保全に必要な規制は条例の定めにより行う。

(4) 保全施設に関する基本方針

巡視歩道、標識、廃棄物処理施設、植生復元施設、病虫害防除施設、給餌施設、養殖施設等を必要に応じて設ける。

(5) 地区の区域設定に関する計画

本地域の区域は、次のとおりとする。

普通地区

名 称	位 置	区 域	総 面 積	土地所有別 面 積	摘 要
西明寺 自然環境 保全地域 普通地区	茨城県 北茨城市 地 域 内	茨城県北茨城市 磯原町大塚の一 部	ヘクタール 24.61	ヘクタール 民有地 24.61	スギなどの 人工林 カシ類の混 交林とシダ 植物、チョ ウ類、鳥類

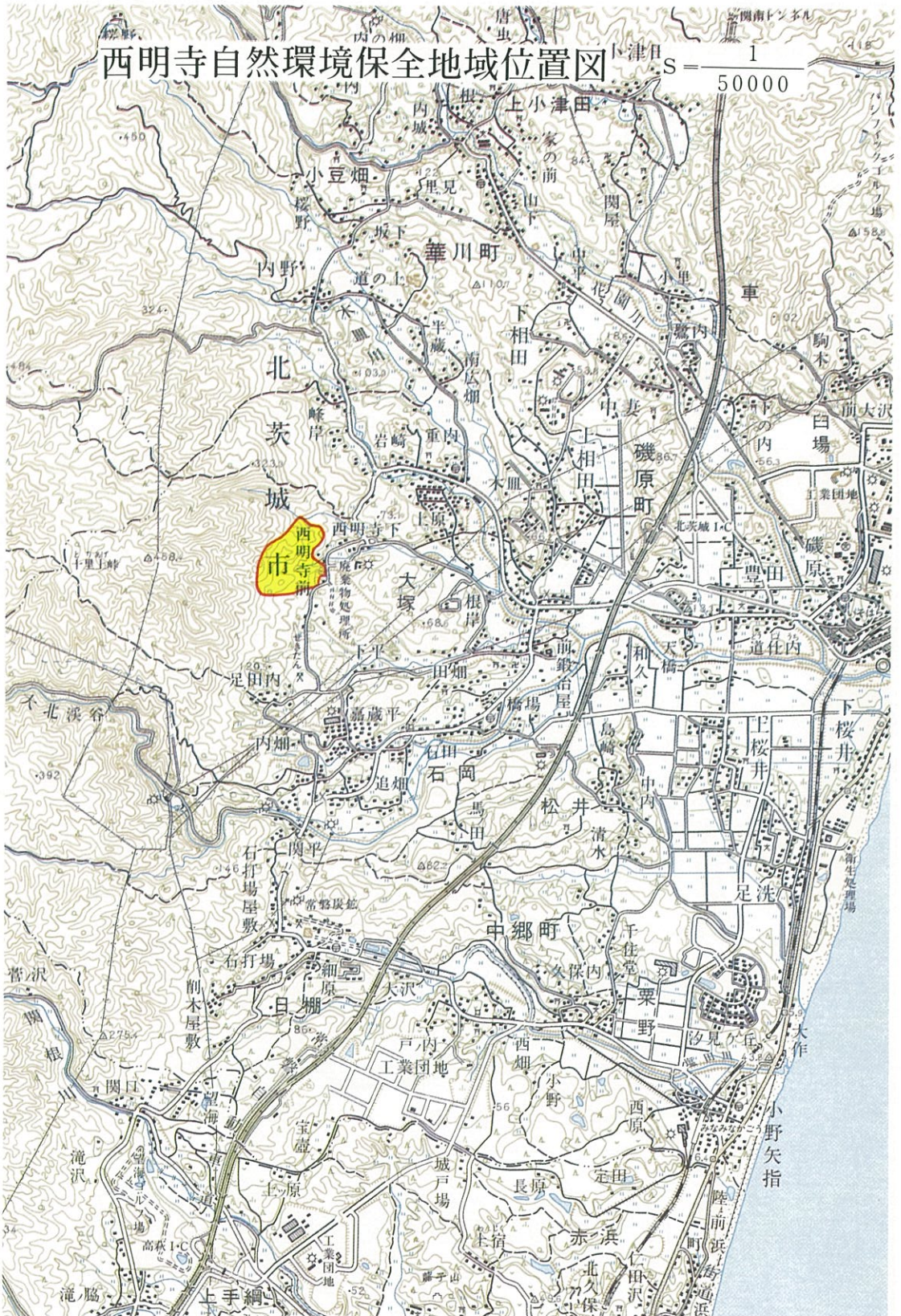
総 括 表

区 分	特 別 地 区									普通地区			合 計		
	野生動植物 保護地区			そ の 他 の 地 区			小 計			国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地
所 有 別	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地						
所 有 別 面 積 (ヘクタール)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24. 61	0	0	24. 61
地 区 別 面 積 (ヘクタール)	0			0			0			24.61			24.61		
地 区 別 (パーセント)	(0)			(0)			(0)			(100)			(100)		

(面積は図上測定による概算値である。)

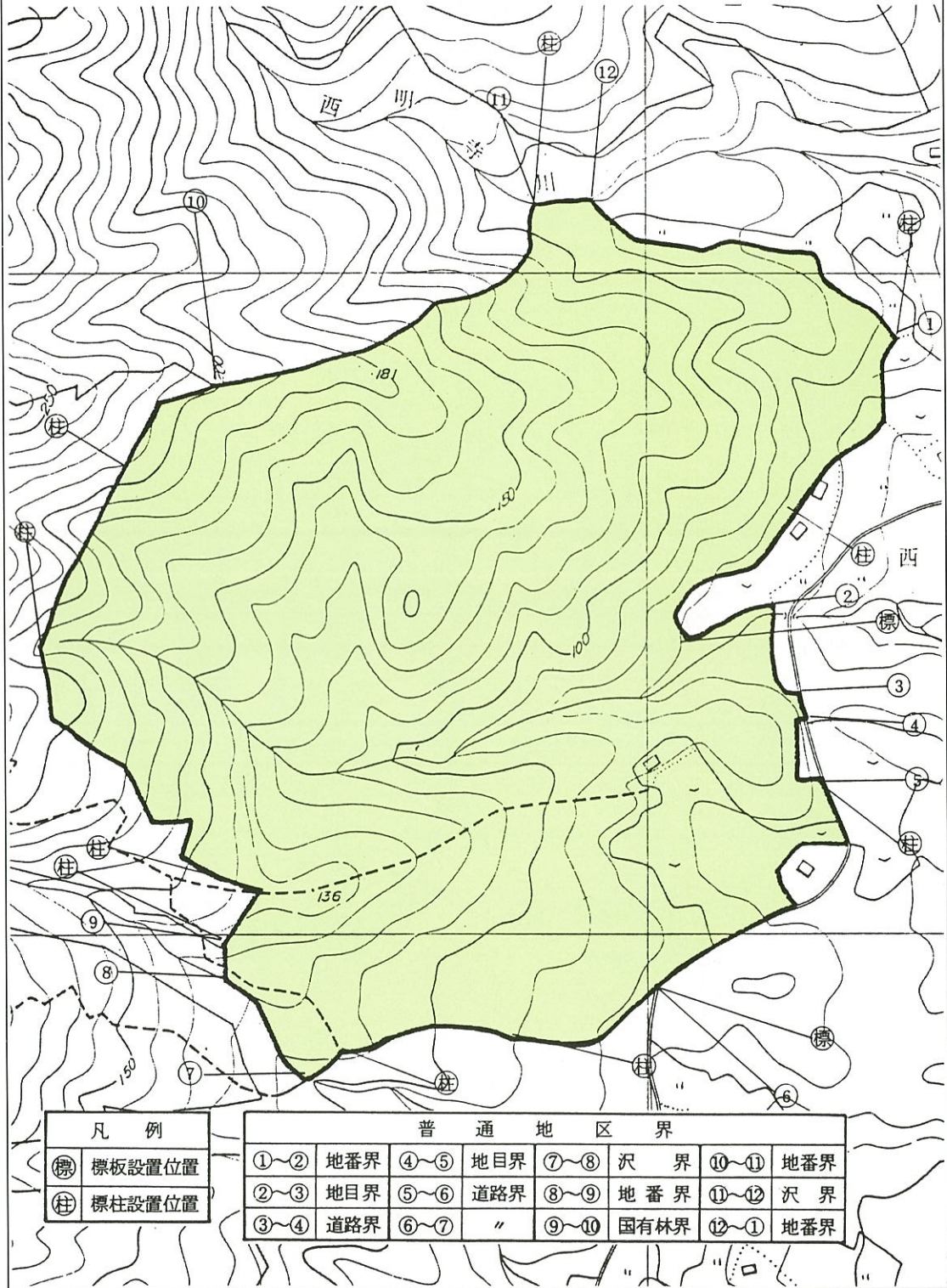
西明寺自然環境保全地域位置図

S = $\frac{1}{50000}$



西明寺自然環境保全地域区域図

$$S = \frac{1}{5000}$$



凡 例	
⊙	標板設置位置
⊚	標柱設置位置

普 通 地 区 界			
①~②	地番界	④~⑤	地目界
②~③	地目界	⑤~⑥	道路界
③~④	道路界	⑥~⑦	"
⑦~⑧	沢 界	⑧~⑨	地 番 界
⑧~⑨	地 番 界	⑨~⑩	国 有 林 界
⑩~⑪	地 番 界	⑩~⑪	地 番 界
⑪~⑫	沢 界	⑫~①	地 番 界